



No. 10 / 65

有脇小学校校長だより

2021・9・24



すっきりしました
ありがとうございました



9月15日に学校応援団“せんだいボランティア”の活動が行われました。今回は正門（南門）付近と校舎へ続く“さくら坂”付近をせんだいしていただきました。樹木のせんだいもですが、フェンスに絡まったツル科の植物の撤去もしていただきました。せんだいボランティアのみなさんは、子どもたちと接することはありません。子どもたちの知らないところで活動し、緑豊かな有脇小学校をさっぱりきれいにしてくださっています。いつもありがとうございます。今回、新たにお一人仲間に加わっていただきました。気軽にご参加いただきたいと思います。よろしくお願いします。

どこにいても自分の命は自分で守る

月にワザがいろいろ理由会社です

9月8日の大放課に地震避難訓練を行いました。6日の朝会で、この週のどこかで実施することが伝えられていました。大放課、子どもたちはいろいろな場所にいます。遊ぶために運動場に出ている子、委員会の活動をしている子、廊下や階段を歩いている子、図書室にいる子、教室にいる子等です。それぞれの場所に合ったシェイクアウトをして、その後避難をしなければなりません。学年も入り交じっています。結果、みごとにそれぞれの場所で1

次避難（シェイクアウト行動）をし、揺れがおさまったという放送で、一斉に運動場に2次避難をしてきました。教室にいた子どもたちは、クッションになる物で頭を保護していました。月曜日に担任から説明を



運動場では、みんな真ん中に集まってシェイクアウト



受けましたが、それぞれの判断で、「お・は・し・も」を守って避難することができました。地震はいつ発起きるかわかりません。それぞれが判断し「自分の命は自分で守る」を実践してほしいと思います。

今ががまんのしどころ



半田市でもコロナ感染症が猛威を振るっています。そこで、半田市教育委員会から「校内で新型コロナウイルスの感染が確認された場合の対応について」というお知らせ（9月16日配布済み）が出されました。校内で感染が確認された場合の臨時休業について、文部科学省が示した基準を参考に半田市としての基準を定めたものです。内容をよくお読みくださいまして、ご理解とご協力をお願いします。

特に「濃厚接触者の候補」の欄にはいくつかの文章があります。その中で「必要な感染予防なしで、感染者と15分以上の接触があった者（例えば感染者と会話していた者）」という一文があります。有脇小学校ではこの“15分以上”に着目しました。“15分以上接触しなければ濃厚接触者の候補はいなくなる”（そんなに単純ではありませんが）という考え方です。日課を見直したところ、教員の指示が行き渡らない可能性がある場面は“大放課”でした。子どもたちにとって、大放課は休憩や遊ぶことができる大切な時間です。現在20分間とってあります。予鈴が鳴って、子どもたちは教室に戻ってきていました。その予鈴をさらに少し早くしています。大放課全体の20分間は変わりませんが、実質の休憩・遊び時間は15分に満たない設定に変更しました。また、熱中症の心配から、大放課と体育科授業時にマスクをはずすことも、現在は着用を原則（体育科授業時は教員の指示でマスクをはずすことがあります）としています。子どもたちには大好きな“鬼ごっこ”もしばらく中止してもらっています。給食はマスクをはずしますが、全員前を向いての黙食と、一方通行配膳、全員の机へのアクリル板設置で対応しています。9月25日の“かいどり大作戦”は中止になりましたが、10月には“ありっ子スポーツフェスティバル”や“修学旅行”が予定されています。方法を工夫して実施していく。子どもたち、今ががまんのしどころです。がんばろうね。